

Power Systems

**5887 の取り外しおよび取り替
え手順**

IBM

Power Systems

**5887 の取り外しおよび取り替
え手順**

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、v ページの『安全上の注意』、13 ページの『特記事項』、「*IBM Systems Safety Notices*」(G229-9054)、および「*IBM Environmental Notices and User Guide*」(Z125-5823)に記載されている情報をお読みください。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

本書は、POWER8™ プロセッサを搭載した IBM Power Systems™ サーバーおよびすべての関連モデルに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Power Systems
5887 removal and replacement
procedures

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2014.

目次

安全上の注意	v
取り外しと取り替えの手順	1
ディスク・ドライブの取り外しおよび取り付け	3
エンクロージャー・サービス・マネージャーの取り外しおよび取り付け	5
ミッドプレーンの取り外しおよび取り付け	7
電源装置の取り外しと取り付け	9
特記事項	13
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項	14
商標	15
電波障害自主規制特記事項	15
VCCI クラス A 情報技術装置	15
VCCI クラス B 情報技術装置	15
使用条件	15

安全上の注意

安全上の注意は、このガイド全体を通じて記載されています。

- **危険**の注記は、人間に致命的または極めて危険な損傷を与える可能性のある状態について注意を促します。
- **注意**の注記は、何らかの状況が原因の、人間に危険な損傷を与える可能性のある状態について注意を促します。
- **重要**の注記は、プログラム、装置、システム、あるいはデータに損傷を与える可能性があることを示します。

ワールド・トレードの安全上の注意

国によっては、製品資料に記載される安全上の注意を自国語で提示するよう要求しています。この要求がお客様の国に適用される場合は、製品に付属の資料パッケージ (印刷された資料または DVD で、あるいは製品の一部として) に安全上の注意についての文書が含まれます。この文書には、英語原典に準拠した、各国語による安全上の注意が記載されています。この製品の取り付け、操作、または保守のために英語の資料をご使用になる場合は、まず、関連している安全上の注意についての文書をよくお読みください。また、英語版資料の安全上の注意が明確に理解できない場合も、必ずこの文書を参照してください。

安全上の注意についての文書の差し替え版または追加のコピーについては、IBM ホットライン (1-800-300-8751) に連絡して入手することができます。

レーザーに関する安全上の注意

IBM® サーバーは、レーザーまたは LED を使用する、光ファイバー・ベースの I/O カードまたはフィチャーを使用することができます。

レーザーに関する準拠

IBM サーバーは、IT 装置ラックの内部または外部に取り付けることができます。

危険

システムまたはその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 電源と装置を接続する場合は、必ず IBM 提供の電源コードを使用してください。IBM 提供の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源装置アセンブリーを開いたり、保守しないでください。
- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- この製品は複数の電源コードを備えていることがあります。危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源コードを取り外してください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントがシステム定格プレートに従った正しい電圧および相回転を供給していることを確認してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置を、正しく配線されたコンセントに接続してください。
- シグナル・ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の手順に従ってケーブルの接続および取り外しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。
2. 電源コードを電源コンセントから取り外します。
3. シグナル・ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。
2. すべてのケーブルをデバイスに接続します。
3. シグナル・ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードをコンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

(D005)

危険

IT ラック・システムやその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

- 重量のある装置の場合、取り扱いを誤ると身体傷害または設備の損傷を引き起こす可能性があります。
- ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げておきます。
- ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- 釣り合いがとれていない機械的荷重による危険な状態を避けるため、最も重いデバイスを常に、ラック・キャビネットの下部に取り付けます。必ず、サーバーおよびオプション・デバイスはラック・キャビネットの下部側から取り付けてください。
- ラック・マウント型デバイスを棚やワークスペースとして使用しないでください。ラック・マウント型デバイスの上には何も置かないでください。



- 各ラック・キャビネットには複数の電源コードが付いていることがあります。保守する際に電源を切断するように指図された場合、ラック・キャビネットのすべての電源コードを抜いてください。
- ラック・キャビネット内のすべてのデバイスは、同一ラック・キャビネットに取り付けられている電源デバイスに接続します。あるラック・キャビネットに取り付けられているデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットにある電源デバイスに接続しないでください。
- 正しく配線されていない電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されたデバイスの金属部品に危険な電圧をかける可能性があります。感電を避けるためにコンセントが正しく配線および接地されていることの確認は、お客様の責任で行ってください。

注意

- ラック内部の温度が、すべてのラック・マウント型デバイスに対する製造者推奨の周辺温度を超えるようなラック内には、装置を取り付けしないでください。
- 空気の流れが妨げられているラック内には、装置を取り付けしないでください。装置内で空気の流れのために使用される装置のいずれかの側面、前面、または背面で、空気の流れが妨げられたり減速されたりしないようにしてください。
- 回路の過負荷によって電源配線や過電流保護が破損しないように、電源回路への機器の接続には十分注意してください。ラックに正しく電源を接続するには、ラック内の機器の定格ラベルで、電源回路の総消費電力を確認してください。
- (引き出し式ドロワーの場合。) ラック・スタビライザー・ブラケットがラックに取り付けられていない場合は、ドロワーまたはフィーチャーを引き出したり、取り付けたりしないでください。一度に複数のドロワーを引き出さないでください。一度に複数のドロワーを引き出すと、ラックが不安定になる可能性があります。
- (固定式ドロワーの場合。) このドロワーは固定ドロワーなので、製造元の指定がない限り、保守のために動かさないでください。ラックからドロワーの一部または全部を引き出そうとすると、ラックが不安定になったり、ドロワーがラックから落下する可能性があります。

(R001)

注意:

ラック・キャビネット内の上の方の位置からコンポーネントを取り外すと、再配置中のラックの安定性が改善されます。格納されたラック・キャビネットを部屋または建物内で再配置するときは必ず、以下の一般ガイドラインに従ってください。

- ラック・キャビネットの上部から順に装置を取り外すことにより、ラック・キャビネットの重量を減らします。可能な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。この構成がわからない場合は、以下の手順を実行する必要があります。
 - 32U 位置以上にあるすべてのデバイスを取り外します。
 - 最も重いデバイスがラック・キャビネットの下部に取り付けられていることを確認します。
 - ラック・キャビネット内で 32U レベルより下に取り付けられたデバイス間に空の U レベルがないことを確認します。
- 再配置しているラック・キャビネットが、一組のラック・キャビネットの一部である場合は、そのスイートからラック・キャビネットを切り離します。
- 通る予定の経路を検査して、障害になる可能性があるものを取り除きます。
- 選択する経路が、搭載されたラック・キャビネットの重量を支えることができるか検査します。搭載されたラック・キャビネットの重量については、ラック・キャビネットに付属の資料を参照してください。
- すべてのドアの開口部が少なくとも 760 x 230 mm 以上であることを確認します。
- すべてのデバイス、シェルフ、ドロワー、ドア、およびケーブルが安定していることを確認します。
- 4 つのレベル・パッドが最も高い位置に上がっていることを確認します。
- 移動時にスタビライザー・ブラケットがラック・キャビネットに取り付けられていないことを確認します。
- 傾斜が 10 度を超えるスロープは使用しないでください。
- ラック・キャビネットが新しい場所に置かれたら、次の手順を実行します。
 - 4 つのレベル・パッドを下げます。
 - スタビライザー・ブラケットをラック・キャビネットに取り付けます。
 - ラック・キャビネットからデバイスを取り外してあった場合は、ラック・キャビネットの最も低い位置から最も高い位置へと格納していきます。
- 長距離の移動が必要な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。ラック・キャビネットを元の梱包材、またはそれと同等のもので梱包します。また、レベル・パッドを下げて、キャスターをパレットから離れるように持ち上げ、ラック・キャビネットをパレットにボルトで止めます。

(R002)

(L001)

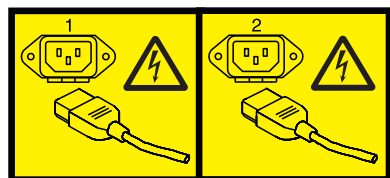


危険: このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。このラベルが付いているカバーまたはバリアは開けないでください。(L001)

(L002)



(L003)



または



または



危険: 複数の電源コード。この製品は複数の電源コードを備えていることがあります。 危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源コードを取り外してください。(L003)

(L008)



注意: 近くに危険な可動部品があります。(L008)

すべてのレーザーは、クラス 1 のレーザー製品について規定している米国の保健社会福祉省連邦規則 21 副章 J (DHHS 21 CFR Subchapter J) の要件に準拠していることが認証されています。米国以外の国では、レーザーは、クラス 1 レーザー製品として IEC 60825 に準拠していることが認証されています。レーザー認証番号および承認情報については、各部品のラベルをご覧ください。

注意:

この製品には、クラス 1 のレーザー製品である **CD-ROM ドライブ**、**DVD-ROM ドライブ**、**DVD-RAM ドライブ**、またはレーザー・モジュールの各デバイスのうち 1 つ以上が含まれていることがあります。次の情報に注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されている以外の手順、制御または調節を行うと有害な光線を浴びることがあります。

(C026)

注意:

データ処理環境には、クラス 1 のパワー・レベルより高いレベルで作動するレーザー・モジュールを備えるシステム・リンク上で伝送する装置が含まれることがあります。この理由から、光ファイバー・ケーブルの先端、またはコンセントの差込口を覗き込まないでください。(C027)

注意:

この製品には、クラス 1M のレーザーが含まれています。光学装置を用いて直接見ないでください。

(C028)

注意:

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次の点に注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。(C030)

注意:

このバッテリーにはリチウムが含まれています。爆発することがありますので、バッテリーを火中に入れたり、充電したりしないでください。

次の行為は絶対にしないでください。

- ____ 水に投げ込む、あるいは浸す
- ____ 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- ____ 修理または分解

IBM 承認の部品のみと交換してください。バッテリーのリサイクルまたは廃棄については、地方自治体の条例に従ってください。米国では、IBM がこのバッテリーの回収プロセスを設けています。詳しくは、1-800-426-4333 にお問い合わせください。お問い合わせの前に、このバッテリー・ユニットの IBM 部品番号をご用意ください。(C003)

NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE の電源および配線の情報

以下のコメントは、NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE 準拠として指定された IBM サーバーに適用されます。

装置は、以下での設置に適しています。

- ネットワーク通信設備
- NEC (National Electrical Code) が適用される場所

この装置のイントラビルディング・ポートは、イントラビルディングまたは屋外に露出していない配線またはケーブル接続にのみ適しています。この装置のイントラビルディング・ポートを OSP (屋外施設) やその配線に接続されているインターフェースの金属部と接続しないでください。これらのインターフェースは、イントラビルディング・インターフェース (GR-1089-CORE 記載のタイプ 2 ポートまたはタイプ 4 ポート) としてのみ使用するよう設計されており、屋外に露出した OSP 配線とは分離する必要があります。1 次保護装置を追加しても、これらのインターフェースと OSP 配線の金属部の接続を十分に保護することはできません。

注: すべてのイーサネット・ケーブルは、シールドされ、両端が接地されている必要があります。

AC 電源システムに、外部サージ保護装置 (SPD) を使用する必要はありません。

DC 電源システムは、分離 DC 帰還 (DC-I) 設計を採用しています。DC バッテリー帰還端子をシャーシまたはフレーム・アースに接続しないでください。

取り外しと取り替えの手順

システム部品を修復、保守、または交換する際には、取り外しおよび取り替え手順を使用します。

取り替えを始める前に、次の作業を行ってください。

1. データが損失する可能性のある取り替え手順を実行する場合、可能であれば、システムまたは論理区画の現行バックアップ (オペレーティング・システム、ライセンス・プログラム、およびデータを含む) を取ってください。
2. フィーチャーや部品の取り付け手順または取り替え手順を確認します。
3. システムのカラー表示の重要度に注意します。

ハードウェア部品上の青色 または赤褐色 は、ハードウェアをシステムから取り外したりシステムに取り付けるために持っていない場所や、ラッチを開けたり閉じたりするときに触っていない場所などを示しています。赤褐色 は、システムまたは論理区画が電源オンのまま、その部品を取り外したり取り替えたりできることを示しています。

4. プラス・ドライバーを利用できることを確認します。
5. 部品が正しくなかったり、欠落していたり、外観上損傷がある場合は、サービス・プロバイダーまたはその上のレベルのサポート部門に連絡してください。

危険

システムまたはその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 電源と装置を接続する場合は、必ず IBM 提供の電源コードを使用してください。IBM 提供の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源装置アセンブリーを開いたり、保守しないでください。
- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- この製品は複数の電源コードを備えていることがあります。危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源コードを取り外してください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントがシステム定格プレートに従った正しい電圧および相回転を供給していることを確認してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置を、正しく配線されたコンセントに接続してください。
- シグナル・ケーブルの接続または切り離しは可能な限り片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の手順に従ってケーブルの接続および取り外しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。
2. 電源コードを電源コンセントから取り外します。
3. シグナル・ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。
2. すべてのケーブルをデバイスに接続します。
3. シグナル・ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードをコンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

(D005)

重要: 現場交換可能ユニット (FRU) の取り外しまたは取り付けの手順を順番どおりに行わないと、FRU またはシステムを損傷する可能性があります。

電子コンポーネントまたはケーブルを扱う場合は、必ず以下の予防措置を行ってください。

- 論理カード、シングル・チップ・モジュール (SCM)、マルチチップ・モジュール (MCM)、電子ボード、およびディスク・ドライブを取り扱う際は、静電気の放電 (ESD) キットおよび ESD リスト・ストラップを使用する必要があります。
- すべての電子コンポーネントは、取り付ける準備ができるまで、配送用のコンテナまたはエンベロープに入れておいてください。

- 電子コンポーネントを取り外してから再取り付けする場合は、そのコンポーネントを一時的に ESD パッドまたはブランケットの上に置いてください。

ディスク・ドライブの取り外しおよび取り付け

ディスク・ドライブは並行して保守することができます。

重要: この現場交換可能ユニット (FRU) の取り外しまたは取り付けの手順を順番どおりに行わないと、FRU またはシステムを損傷する可能性があります。

電子コンポーネントまたはケーブルを扱う場合は、必ず以下の予防措置を行ってください。

- 静電気の放電 (ESD) によってハードウェアが損傷するのを防止するために、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・ストラップを接続します。
- リスト・ストラップがない場合は、製品を ESD パッケージから取り出して、ハードウェアの取り付けまたは取り替えを行う前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒以上触れてください。
- すべての電子コンポーネントは、取り付ける準備ができるまで、配送用のコンテナまたはエンベロープに入れておいてください。
- 電子コンポーネントを取り外してから再取り付けする場合は、そのコンポーネントを一時的に ESD パッドまたはブランケット (使用可能な場合) の上に置いてください。

ディスク・ドライブをディスク・ドライブ・エンクロージャーから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. オレンジ色のリリース・ラッチをゆっくりと上方にスライドさせて、ドライブ・ハンドルをアンロックします。
2. ハンドルを握って、ドライブの一部をスロットから引き出します。
3. ディスク・ドライブの前部をつかみ、ディスク・ドライブの底部を支えながら、スロットから引き出します。

注: ディスク・ドライブを取り外すと、スロットの並行保守ライトが消灯します。

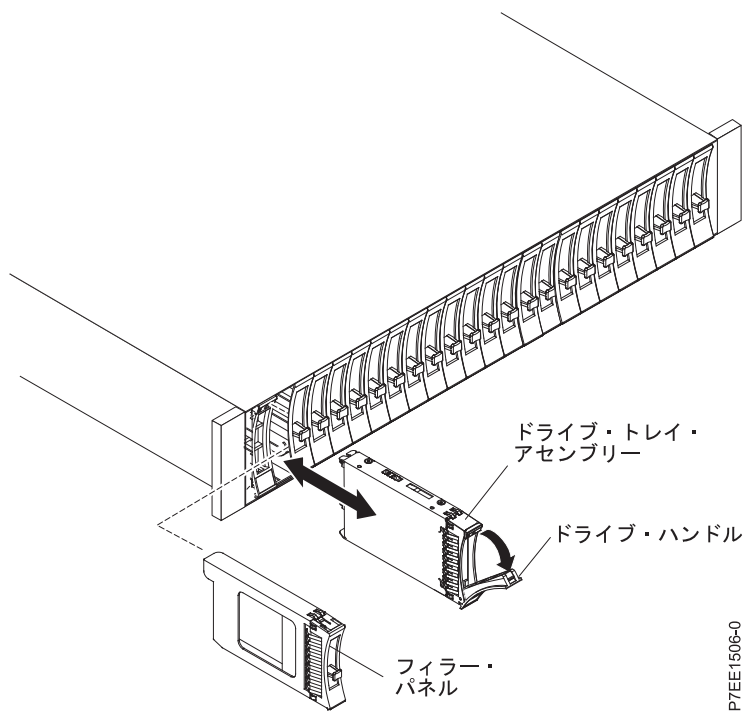


図1. ディスク・ドライブ・エンクロージャーからのディスク・ドライブの取り外し

ディスク・ドライブをディスク・ドライブ・エンクロージャーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. ハンドルがロック解除位置になっている状態で、ディスク・ドライブの底部を支えながら、ディスク・ドライブをディスク・ドライブ・エンクロージャーのガイド・レールと位置合わせします。

注: ハンドルだけをつかんでディスク・ドライブを持たないでください。

2. ディスク・ドライブを、ドライブが止まるまでディスク・ドライブ・エンクロージャーの中にスライドさせます。
3. ハンドルをロック位置まで回転させます。

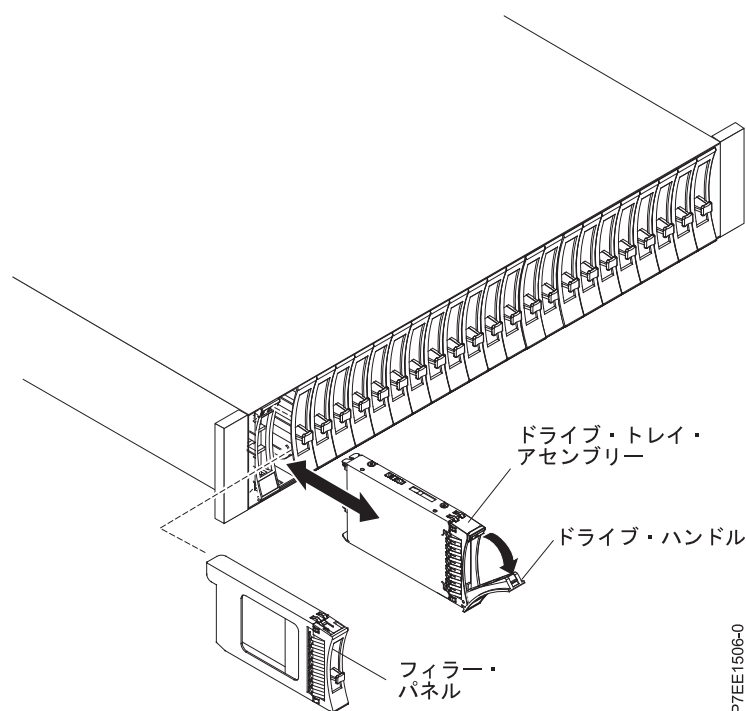


図2. ディスク・ドライブ・エンクロージャーへのディスク・ドライブの取り付け

エンクロージャー・サービス・マネージャーの取り外しおよび取り付け

エンクロージャー・サービス・マネージャー (ESM) の取り外しおよび取り付けを並行して行うことができるのは、オレンジ色の障害ライトが点灯している場合に限られます。

重要: この現場交換可能ユニット (FRU) の取り外しまたは取り付けの手順を順番どおりに行わないと、FRU またはシステムを損傷する可能性があります。

電子コンポーネントまたはケーブルを扱う場合は、必ず以下の予防措置を行ってください。

- 静電気の放電 (ESD) によってハードウェアが損傷するのを防止するために、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・ストラップを接続します。
- リスト・ストラップがない場合は、製品を ESD パッケージから取り出して、ハードウェアの取り付けまたは取り替えを行う前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒以上触れてください。
- すべての電子コンポーネントは、取り付ける準備ができるまで、配送用のコンテナまたはエンベロープに入れておいてください。
- 電子コンポーネントを取り外してから再取り付けする場合は、そのコンポーネントを一時的に ESD パッドまたはブランケット (使用可能な場合) の上に置いてください。
- 非並行の取り替えを行う間、一度に 1 つの新しい FRU を取り付けるたびにディスク・ドライブ・エンクロージャーの電源サイクルを行っていない限り、ESM の取り替えをミッドプレーンの取り替えと組み合わせないでください。同時に複数の FRU を取り替えた場合、シリアル番号は保持されません。

ESM の取り外しおよび取り付けを行うには、以下のステップを実行します。

1. 修復を並行して続行できるかどうか判断します。修復を並行して続行するには、以下の条件が当てはまる必要があります。

- 2 番目の ESM がすでに取り付けられている。
 - 障害 ESM のオレンジ色の障害ライトが点灯している。
2. 上記のいずれかの条件が当てはまらない場合、修復は、修復対象の FRU が入っている装置の電源をオフにしてからでなければ続行できません。また、「ESM は非並行で保守されます」で開始する必要があります。それ以外の場合は、「ESM は並行して保守されます」で続行します。
 - **ESM は並行して保守されます。**
ステップ 3 に進みます。
 - **ESM は非並行で保守されます。**
ディスク・ドライブ・エンクロージャーを使用しているシステムまたは区画の電源をオフにします。ディスク・ドライブ・エンクロージャーの両方の電源装置から電源を取り外します。ステップ 3 に進みます。
 3. ESM を取り外します。
 - a. シリアル接続 SCSI (SAS) ケーブル (複数の場合もあり) を ESM から切り離し、各ケーブルのラベルにその位置を示すマークを付けます。
重要: ケーブルの配置を間違えると、データ損失の原因となる可能性があります。
 - b. 2 つの解放レバーを開きます。
 - c. ESM の両側を支えながらエンクロージャーから引き出します。

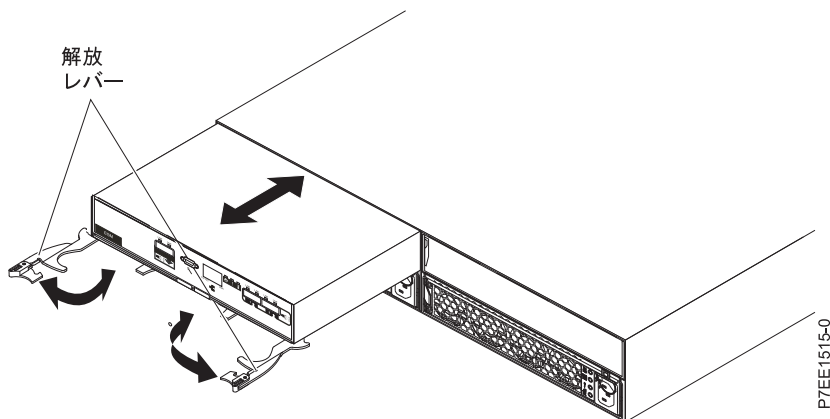


図 3. ディスク・ドライブ・エンクロージャーからの ESM の取り外し

4. ESM を取り付けます。
 - a. 新しい ESM の解放レバーが開いた位置になっていることを確認します。
 - b. ESM が止まるまで、ESM をエンクロージャーの中にゆっくりとスライドさせます。
 - c. 解放レバーを押して閉じた位置にします。
 - d. ステップ 3a で各ケーブルにマークを付けた位置の情報を使用して、SAS ケーブル (複数の場合もあり) を ESM に再接続します。
重要: ケーブルの配置を間違えると、データ損失の原因となる可能性があります。
 - e. このサービス処置が非並行修復であった場合は、ディスク・ドライブ・エンクロージャーの電源装置への電源を復元してから、システムまたは区画の電源をオンにしてください。

注: エンクロージャー情報の損失を防ぐため、電源がオフの状態でも両方の ESM を同時に取り替えないでください。2 番目の ESM を非並行で取り替えるには、最初に電源を復元します。その後で、電源を取り外し、ESM を取り替えます。

ミッドプレーンの取り外しおよび取り付け

ミッドプレーンは非並行で保守することができます。

重要: この現場交換可能ユニット (FRU) の取り外しまたは取り付けの手順を順番どおりに行わないと、FRU またはシステムを損傷する可能性があります。

電子コンポーネントまたはケーブルを扱う場合は、必ず以下の予防措置を行ってください。

- 静電気の放電 (ESD) によってハードウェアが損傷するのを防止するために、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・ストラップを接続します。
- リスト・ストラップがない場合は、製品を ESD パッケージから取り出して、ハードウェアの取り付けまたは取り替えを行う前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒以上触れてください。
- すべての電子コンポーネントは、取り付ける準備ができるまで、配送用のコンテナまたはエンベロープに入れておいてください。
- 電子コンポーネントを取り外してから再取り付けする場合は、そのコンポーネントを一時的に ESD パッドまたはブランケット (使用可能な場合) の上に置いてください。
- 新しいミッドプレーンが取り付けられたディスク・ドライブ・エンクロージャーに電源を入れるまで、この手順ではミッドプレーンの FRU のみを取り替えます。シリアル番号を保持するために、この手順では元のエンクロージャー・サービス・マネージャー (ESM) を使用する必要があります。

ミッドプレーンの取り外しおよび取り付けを行うには、以下のステップを実行します。

1. ミッドプレーンを保守するために、ディスク・ドライブ・エンクロージャーの電源を取り外します。ディスク・ドライブ・エンクロージャーの電源を取り外すために、このディスク・ドライブ・エンクロージャーを使用しているシステムまたは区画の電源をオフにすることが必要になる場合があります。ディスク・ドライブ・エンクロージャーの両方の電源装置から電源を取り外します。
2. 各ディスク・ドライブを慎重に取り外して、取り外し元のスロットを示すラベルを付けます。3 ページの『ディスク・ドライブの取り外しおよび取り付け』を参照してください。ミッドプレーンを取り替えた後、ディスク・ドライブを取り外し元と同じスロットに挿入する必要があります。
3. 2 つの電源装置を取り外します。手順については、9 ページの『電源装置の取り外しと取り付け』を参照してください。
4. ESM のすべての SAS ケーブルにラベルを付けて、取り外します。
5. 両方の ESM を取り外します。手順については、5 ページの『エンクロージャー・サービス・マネージャーの取り外しおよび取り付け』を参照してください。
6. ベゼルを取り外し、ドロワーのねじを外してラックから取り外します。
7. ミッドプレーン・アセンブリーのねじを取り外します。
 - a. エンクロージャーをラックから取り外し、エンクロージャーを上下逆さまにして平らな面に置きます。
 - b. 正しいサイズのドライバーを使用して、エンクロージャー下部から 2 本のねじを取り外します。これらのねじに、取り外した場所を示すラベルを付けて、ねじを横に置きます。
 - c. エンクロージャーの上面を上にして、平らな面に置きます。ミッドプレーン・アセンブリーをエンクロージャー前部に固定している、左右側面の 4 本の勾配付きねじを取り外します。これらの 4 本のねじに、取り外し元の場所を示すラベルを付けて、ねじを脇に置いておきます。
 - d. ミッドプレーン・アセンブリーをシャーシに固定している、エンクロージャーの両サイドにある 4 つのねじを取り外します。これらの 4 本のねじに、取り外し元の場所を示すラベルを付けて、ねじを脇に置いておきます。

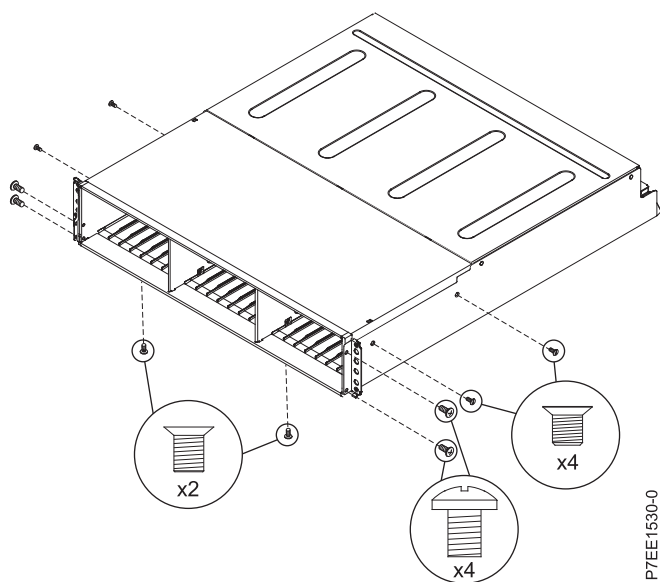
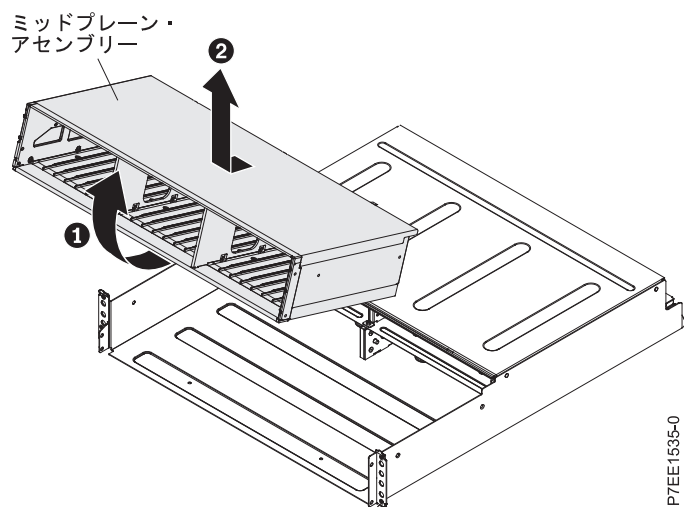
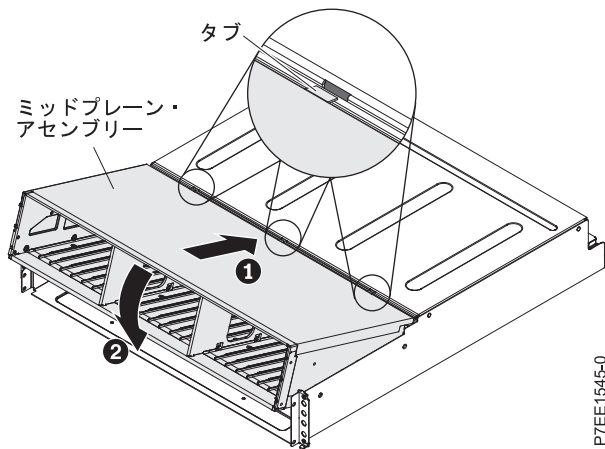


図4. ミッドプレーン・アセンブリーのねじの取り外し

8. ミッドプレーン・アセンブリーを取り外します。



- a. ミッドプレーン・アセンブリーを上に向かって約 45 度の角度で回転させます。
 - b. ミッドプレーン・アセンブリーをエンクロージャーから持ち上げて取り出します。
9. ミッドプレーン・アセンブリーを取り付けます。



- a. >両手でミッドプレーン・アセンブリーを持ち、45 度の角度で保持します。
 - b. ミッドプレーン・アセンブリー上の 3 つのタブを、エンクロージャー内のタブ穴に挿入し、アセンブリーの前部を下方へ回転させます。
10. ミッドプレーン・アセンブリーのねじを取り付けます。
- a. 以前にステップ 7d で取り外した 4 本のねじを使用して、エンクロージャーの左右両方の側面でミッドプレーン・アセンブリーをシャーシに固定します。
 - b. 以前にステップ 7c で取り外した 4 本のねじを使用して、ミッドプレーン・アセンブリーをエンクロージャー前部に固定する 4 本の勾配付きねじを挿入します。
 - c. エンクロージャーを上下逆さまにして、ステップ 7b で取り外した 2 本のねじを使用し、それらの 2 本のねじをエンクロージャーの下部に挿入します。
 - d. エンクロージャーの上面を上にして、エンクロージャーをラックに取り付けます。
11. ドロワーをラックにねじで取り付け、ベゼルを取り付けます。
12. 元の ESM を両方とも取り付けます。手順については、5 ページの『エンクロージャー・サービス・マネージャーの取り外しおよび取り付け』を参照してください。
13. SAS ケーブルを ESM に取り付けます。
14. 元の電源装置を両方とも取り付けます。手順については、『電源装置の取り外しと取り付け』を参照してください。
15. ディスク・ドライブを取り付けます。その際、各ディスク・ドライブが取り外し元と同じスロットに挿入されていることを確認してください。手順については、3 ページの『ディスク・ドライブの取り外しおよび取り付け』を参照してください。
16. ディスク・ドライブ・エンクロージャーの電源装置への電源を復元させてから、システムまたは区画の電源をオンにします。
17. LED を調べて、エンクロージャーが完全に作動可能であることを確認します。

電源装置の取り外しと取り付け

電源装置の取り外しと取り付けは、並行または非並行で行うことができます。

重要: この現場交換可能ユニット (FRU) の取り外しまたは取り付けの手順を順番どおりに行わないと、FRU またはシステムを損傷する可能性があります。

電子コンポーネントまたはケーブルを扱う場合は、必ず以下の予防措置を行ってください。

- 静電気の放電 (ESD) によってハードウェアが損傷するのを防止するために、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・ストラップを接続します。
- リスト・ストラップがない場合は、製品を ESD パッケージから取り出して、ハードウェアの取り付けまたは取り替えを行う前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒以上触れてください。
- すべての電子コンポーネントは、取り付ける準備ができるまで、配送用のコンテナまたはエンベロープに入れておいてください。
- 電子コンポーネントを取り外してから再取り付けする場合は、そのコンポーネントを一時的に ESD パッドまたはブランケット (使用可能な場合) の上に置いてください。

電源装置の取り外しおよび取り付けを行うには、以下のステップを実行します。

1. 修復を並行して続行できるかどうか判断します。修復を並行して続行するには、以下の条件が当てはまる必要があります。
 - 2 番目の電源装置がすでに取り付けられている。
 - 2 番目の電源装置の LED が次のように設定されている。
 - DC 電源 LED (緑色) が点灯している。
 - 障害 LED (オレンジ色) が消灯している。
 - AC 電源 LED (緑色) が点灯している。

注: 電源がオンの状態で障害のある電源装置を取り外して再取り付けする場合、過熱を防ぐために 15 分未満で手順を実行する必要があります。

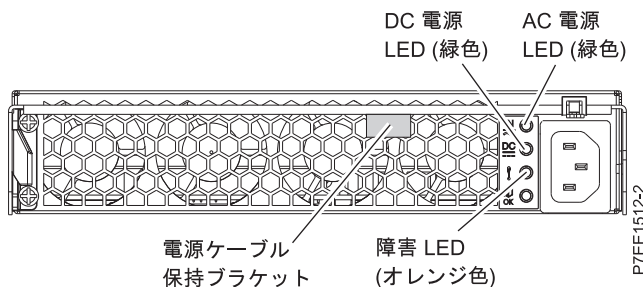


図 5. 電源装置の背面図

2. 上記のいずれかの条件が当てはまらない場合、修復は、修復対象の FRU が入っている装置の電源をオフにしてからでなければ続行できません。また、「電源装置は非並行で保守されます」で開始する必要があります。それ以外の場合は、「電源装置は並行して保守されます」で続行します。
 - **電源装置は並行して保守されます。**
この手順の間、作動中の電源装置の電源を取り外さないでください。電源ケーブル保持ブラケットを取り外します。取り外す電源装置の電源ケーブルにラベルを付けて、電源装置から取り外します。ステップ 3 に進みます。
 - **電源装置は非並行で保守されます。**
ディスク・ドライブ・エンクロージャーを使用しているシステムまたは区画の電源をオフにします。電源ケーブル保持ブラケットを取り外します。電源ケーブルにラベルを付けて、ディスク・ドライブ・エンクロージャーの電源装置から取り外します。ステップ 3 に進みます。
3. 電源装置を取り外します。

注: 電源がオンの状態で電源装置を取り外す場合、過熱を防ぐために 15 分以内でこの手順を実行する必要があります。

- a. 電源装置の左側で、ハンドルを下方に回転させながらオレンジ色のリリース・タブをハンドルが解放されるまで右に押します。
- b. ハンドルを使用して、底部を支えながら電源装置をゆっくりとエンクロージャーから引き出します。

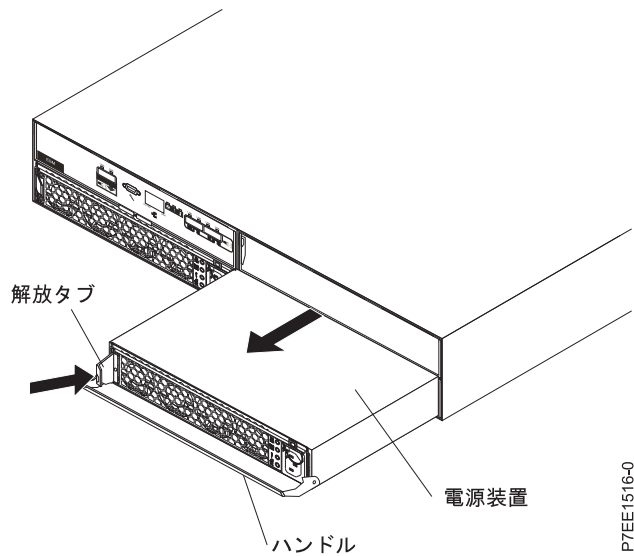


図 6. 電源装置の取り外し

4. 電源装置を取り付けます。
 - a. 取り替える電源装置を、ハンドルが十分に下方に伸びるように保持します。
 - b. 電源装置が止まるまで電源装置をエンクロージャーの中にゆっくりとスライドさせます。
 - c. カチッと音がするまでハンドルを上方に回転させ、閉じた位置にします。
 - d. 電源ケーブルを電源装置に再接続します。電源ケーブル保持ブラケットを取り付けます。

注: 電源コードを再接続した後、AC 電源および DC 電源 (緑色) LED が点灯して、障害 (オレンジ色) LED が消灯していることを確認します。

- e. このサービス処置が非並行修復であった場合は、電源ケーブルをもう一方の電源装置に再接続して、電源ケーブル保持ブラケットを取り付け、システムまたは区画の電源をオンにしてください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は IBM から他の言語で入手できる場合があります。ただし、その資料にアクセスするには、その言語の製品または製品バージョンを所有していなければならない場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同等である保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

本書に示されている図や仕様は、IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製してはなりません。

IBM は、示されている特定のマシンを対象として本書を作成しています。その他の使用および使用結果については、IBM は何ら保証責任を負いません。

IBM のコンピューター・システムには、破壊または損失したデータが検出されない危険性を減少するために設計されたメカニズムが含まれています。しかし、この危険性をゼロにすることはできません。不意の停電によるシステムの休止やシステム障害、電力の変動または停電、もしくはコンポーネント障害を経験するユーザーは、停電または障害が起きた時刻もしくはその近辺で行われたシステム操作とセーブまたは転送されたデータの正確性を検証する必要があります。さらに、ユーザーはそのような不安定で危機的な状況で操作されたデータを信頼する前に、独自のデータ検証手順を確立する必要があります。ユーザーはシステムおよび関連ソフトウェアに適用できる更新情報または修正がないか、定期的に IBM の Web サイトをチェックする必要があります。

認定ステートメント

本製品は、お客様の国で、いかなる方法においても公共通信ネットワークのインターフェースへの接続について認定されていない可能性があります。そのような接続を行うには、事前に法律によるさらなる認定が必要です。ご不明な点がある場合は、IBM 担当員または販売店にお問い合わせください。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie をはじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらのCookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限りません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

電波障害自主規制特記事項

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

VCCI クラス B 情報技術装置

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用するを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用可能性: これらの条件は、IBM Web サイトのすべてのご利用条件に追加されるものです。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾を得ずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾を得ずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示したりすることはできません。

権利: ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。



Printed in Japan